



# 農大二中進路通信

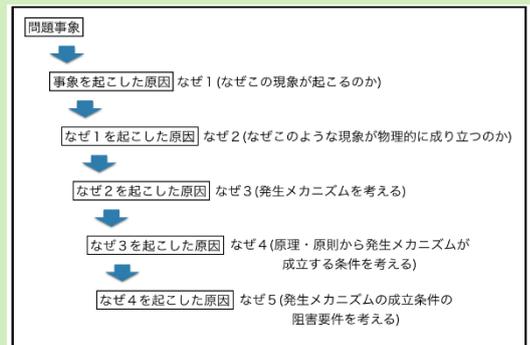
令和6年5月27日(月)  
第4号 農二中進路指導部

## 「なぜ？」が大事

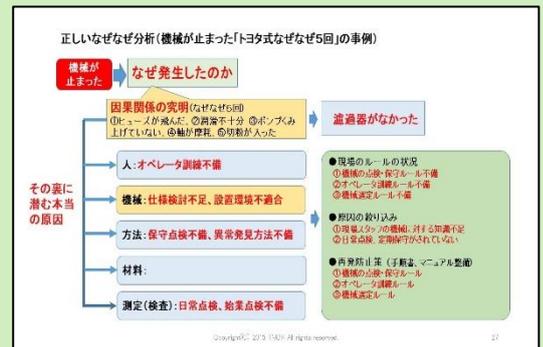
5月21日から23日の三日間にわたる中間テストが終わりました。最終日には生徒たちからは口々に「疲れた～」「やっと終わった～！」とのコメントがありました。中間テストは終わりましたが、6月にはすぐに期末テストです。いつまでも解放感に浸りすぎず、しっかり切り替えて学習に励みましょう。ちなみに期末テストは科目数が倍になります。事前の準備が大切です。

1年生は初めてのテストでとても緊張したと思います。とりあえず、頑張った自分を褒めてあげてください。中1、中2問わず、思ったよりもテストができた生徒、できなかった生徒がいたと思います。すべての結果はこれまでの原因によるものです、すなわち、どのように準備してきたかです。2年生の中には「今回は取り組みが遅く、学習時間が足りなかった」「演習量が足らなかった」などと毎回のテスト終わりに同じようなコメントをする生徒がいますが、そろそろ、過去の失敗や後悔から学んでほしいと思います。

一方で「今回は前回よりも良かった」などとポジティブなコメントをする生徒が多々いました。なぜ、そのような結果が得られたのでしょうか？結果を受けて、原因を究明することはとても大切です。しかし、これは生徒のみならずだけでなく、社会で働く大人にとっても大切なことなのです。問題が起きたときに「なぜ、それは起きた？①」「なぜ、①が起きたのか？」などと原因を繰り返し自問し、課題意識を高めようとする会社があります。それは国内最大手車メーカーのトヨタです。トヨタといえば、本質的な課題意識を重視するために、『なぜ？』を5回繰り返す会社として有名です。トヨタでは万事がこの調子で、あらゆる事柄について疑問を持ち、自ら考えるように促されます。正解はないかもしれませんが、自分で解決策を考えることが大切です。こうして、問題が起きたときに失敗を責めることよりも、次にその問題を起こさないように、何をすればいいか考えさせることが大事だということです。そして、こうした思考の訓練を常に行っていくことで物事の本質を洞察する思考力が鍛えられると言います。今週、ほとんどのテストが返ってきました。その結果は「なぜ」出てきたのでしょうか？うまかったことは継続して行えばいいし、ダメだったところは改善のために「何が必要か」を考え、次のテストで新たな挑戦をしてみたいものです。その中で自分の学習スタイルが身につくといいと思います。くれぐれも点数だけを見て、一喜一憂をしないようにしてくださいね。



引用：[トヨタ流問題解決「5Why」の本当の意味とは？ | スターヒルズ企画 \(starhillplan.com\)](#)



引用：[トヨタ式なぜなぜ\(5回\)分析の真実 | データとデジタル技術活用で未来を創る！スキルアップ学習サイト \(themedia.jp\)](#)

# 中間テスト後の復習の仕方

「なぜ？」の大切さは上記しましたが、具体的にどのように今回のテストを今後に活かしていけばよいのかがよくわかっていない生徒も多くいると思います。みなさんが持っている進路サポート学習ノートにその具体的な方法が書かれています。「結果を次回に活かす答案の振り返り方」と題し、いろいろなパターンで書かれていますので、よく読み、一か月後にある期末テストに向けて準備を進めてください。



## 結果を次回に活かす答案の振り返り方

「もったいない答案の振り返り方」そのパターンと対策



- パターン① 点数だけを見て
- パターン② 間違えた原因を把握していない
- パターン③ 間違えたところを復習しない
- パターン④ 正解したところは振り返らない

対策①

対策②

対策③

対策④

答案には実力を伸ばす  
ヒントがいっぱい

テストが終わると、前のことはすべて終わったような気になるものである。しかしテストは、一回で完結するものではない。この先の高校・大学まで続く長い道のりの通過点の一つであり、そのときどきで確実に理解しておきたい内容が出題されるものなのだ。だから、答案を見れば自分の理解が足りないところがあるし、間違えた原因を分析することで、学習法の弱点や苦手の芽も見出せるのだ。

このように、返却された答案には、実力を伸ばすヒントがいっぱい詰まっている。点数に一喜一憂して終わりにしてしまうのはもったいない。ヒントを大いに利用して、自分の学習法を見直していこう。

### 対策①

点数に振り回されず、中身をしっかりと振り返る



テストの点数がよくても悪くても、そのこと自体はたいした問題ではない。大切なのは、今回の結果を明日からの学習や、次のテストに生かせるかという点である。

### 対策②

間違えた原因を分析し、学習法を考え直す



間違えたのが「理解不足」によるものなら、まじめ方や問題演習の量に、「勘違い・書き間違い」によるものなら、見直し方に問題があったと考えられる。さっそく明日の授業から、「ノートのとり方を工夫する」、次のテスト準備から、「問題演習の時間を増やす」、「見直し方を強化する」などの対策を実行しよう。

### 対策③

疑問がなくなるまで、とことん復習する



定期テストには、「これがわかればここまでの学習は身につけている」ということを確認するため、重要問題が出題されている。間違えたということは、理解できていない証拠だ。間違えたところは必ず教科書に戻って復習し、わからないところがあつたら先生に質問するなどして、疑問点を完全に解消しておこう。

### 対策④

正解にひそむ、まぐれやあいまいをなくしていく



正解した問題の中には、本当はきちんと理解できていないのにまぐれで正解というものもある。今回は運よく得点できたけれど、このまま放っておくと、別のテストでつまづいてしまうことは間違いのない。正解した問題も振り返って、そんな「隔れ不正解」を見極めよう。そしてきちんと復習し、理解できるようにしておこう。

## 答案の振り返りから次のテスト準備が始まる

答案の振り返りでは、どこを間違えたのかだけでなく、それは「理解不足」なのか、「問題演習量不足」なのか、「ケアレスミス」なのか、原因も見極めよう。

原因がわかつたら、その対策を考える。例えば、明日から授業でわかりやすくノートをとるとか、次のテスト準備では問題演習にもっと時間をかけるとか、解答の見直しはポイントを絞って行うというふうにする。つまり、答案を振り返る瞬間から、これからの学習を改善し、次のテストでさらに伸びるための準備が始まっているのだ。

テストのたびにこの作業を繰り返していくことで、きみの実力は確実に上がっていくだろう。

また、答案は計画表と一緒に保管しておき、次のテストの計画を立てるときにもう一度見直そう。「実力を伸ばすヒント」を忘れず、計画に生かすことができるので、さらに有効だ。

# Science Experiment Contestに大興奮!

5月11日(土)中等部1・2年生対象の「Science Experiment Contest」を実施しました。今回のテーマは「Free Fall」で、仲間と協力しながら、“物体がゆっくり、かつまっすぐ落下する”ための条件を模索し、製作した物体の落下時間を班対抗で競い合いました。ゆっくり落ちるために空気抵抗を増やすとまっすぐ落ちにくく、まっすぐ落ちることを意識しすぎると今度は落下時間が速くなってしまうというジレンマと戦いながら、生徒たちは互いに意見を出し合いました。軽さに特化したものや、空気抵抗をより多く受けるようにしたもの、まっすぐ落とすためプロペラのように回転しながら落下するものなど、使用できる道具に制限がある中、果敢にチャレンジをしながら製作していました。本コンテストを通して、生徒たちは互いに話し合った意見を実際に形にし、落下させては問題点を探し、作り変える、といった活動を積極的に行っていました。コンテスト後には、結果の良かった班の形を考察したり、最適な物体の形について話し合っている生徒が多く見られ、生徒たちにとって有意義な時間になりました。来年も同じイベントを実施しますので1年生は来年リベンジしてください。また、2学期には第二回の Science Experiment Contest を実施します。内容は今回と違いますので楽しみにしてください。理科好きな生徒が増えることを心から期待しています。

## NI 探究レクチャー「発酵について」

5月14日(火)に本校武揚ホールにおいて、中等部1年生を対象に総合探究の一環として「発酵食品について」のテーマで東京農業大学 応用生物科学部の野口智弘教授に講演していただきました。身の回りには味噌や醤油、ヨーグルトなど多くの発酵食品がありますが、発酵食品の歴史や酵素の働きについての説明がありました。特に、発酵には酵素の働きが重要であり、旨みが出る理由や、お肉が柔らかくなる理由などについて説明がありました。中学1年生には少し難しい話もありましたが、メモを取ったり、質問したりしながら、興味深く聞いていました。この授業の後に実際に各クラス「味噌づくり」を行いました。その様子は次号に載せたいと思います。



### 重要

中1、中2対象 親子進路ガイダンスのお知らせ

6月28日(金)11:00より、中1、中2対象 親子進路ガイダンスを行います。内容は4月に受験した学力推移テストに関する分析、講評、そして、今後の勉強方法についてです。今回は中1、中2合同で保護者の方々も自由に参加できますので、ご都合がございましたらぜひご参加ください。

### 重要

NI 探究中間発表会のお知らせ

7月10日(水)午前中の2～3限(9:50～11:40)に中2生による NI 探究中間発表会を行います。発表方法は昨年3月に発表したようなポスター発表となります。今回は主にデータ収集のための手法やこれまで調べたデータや情報についての発表となります。中1、中2の保護者の方々も自由に参加できますので、ご都合がございましたらぜひご参加していただき、生徒の活動を見ていただくとともにアドバイスをいただけたらと思います。